

## 2025年度第4回常任幹事会議事録

日時 2026年1月19日(月)13時30分～15時30分(予定) 場所 WEB 会議／中央大学理工学部(ハイブリッド)

出席(予定)者(未確定):

[支部長] 菅原 [副支部長] 上野、梅林、敷野、島田、平山 [監事] 津越  
[常任幹事] 青木、板橋、植田、岡村、東海林、高橋(豊)、豊田、中村、西垣、西山、古庄、山口  
[幹事] 吉川、桑原、斎藤、半田、森田 [参与] 高田、早下、丹羽、山本

欠席者: 菅沼、稲川、梅村、勝又、坂元、高橋由、沼子、林、南、由井、田中

### 1. 前回議事録確認

2025年度関東支部第3回常任幹事会(11月18日開催)議事録<菅原支部長>  
議事録【公開済】について確認した。

### 2. 報告事項<資料作成・説明者>

1. 会計報告<島田副支部長>  
貸借対照表、正味財産増減計算書について報告があった。
2. 理事会報告<敷野副支部>  
資料にもとづき、12/22に開催された第四回理事会について学会組織図や分析化学誌、本年度に開催された年会・討論会・ASIANALYSIS XVIIの報告、今後の年会・討論会、分析イノベーション交流会報告などについて報告があった。例年と開催曜日が異なる第87回討論会の日程は5/20(木)~21(金)、年会は東北大学で2026年9月15日(火)~17(木)であることを確認した。
3. 各誌編集委員会報告<高橋(豊)／南／梅林各常任幹事>
  - ・「ぶんせき」<高橋(豊)常任幹事>: 資料にもとづき1/14の第5回編集委員会の報告があった。
  - ・「分析化学」<東海林各常任幹事>: 口頭で特集号などについて報告があった。
  - ・「Analytical Science」<梅林各常任幹事>: 口頭で委員交代について報告があった。
4. 各地区活動報告<各地区担当>
  - ・群馬・栃木地区<菅原支部長、茨城地区<岡村常任幹事>: 資料にもとづき菅原支部長から11/28に宇都宮大学陽東キャンパスで第6回群馬・栃木地区分析技術交流会がハイブリッドで開催されたとの報告があった。12/5には水戸市民会館で第19回茨城地区分析技術交流会を実施した。水戸市民会館の開催では参加人数が140名をこえたとの報告があった。
5. 分析イノベーション交流会活動報告<豊田常任幹事>  
資料にもとづき、これまでの活動に関する報告があった。2026年度からは本交流

会は関東支部か本部主催になる。

6. 支部主催セミナー報告 <敷野副支部長、菅原支部長>

口頭で、本年度に開催された第46回・第47回基礎セミナーについて報告と、2月に開催予定の第15回基本と安全セミナーの予告があった。また、1/29~30に東京理科大学にて第36回分析化学基礎実習が行われるとの報告があった。

7. 支部表彰の件 <菅原支部長>

2025年度の新世紀賞は1名、新世紀新人賞の受賞者が1名との報告があった。

8. 第76年会について <梅林副支部長>

資料にもとづき、2027年の第76回分析年会の開催予定について報告があり、日程・会場について議論があった。9/21~23、9/22~24、9/28~30の期間中に新潟大学で開催する方向となった。

9. その他

特になし

3. 協議事項

1. 今後の分析イノベーション交流会活動について <豊田常任幹事>

資料にもとづき、2026年度以降の活動について説明があり、承認された。今後の活動方針を決める際にご意見等をいただきたいとのコメントがあった。

2. 2026年度支部役員（案）について <菅原支部長>

資料にもとづき、2026年度支部役員・業務分担案について説明があり、承認された。

3. 2026年度事業計画（案）について <菅原支部長>

資料にもとづき、2026年度収支予算案について説明があり、承認された。次年度において若手の会に昨年よりも予算を増額することが認められた。

4. 2026年度若手の会の進め方について <岡村常任幹事>

資料にもとづき、「若手の会の今後の進め方」についてのアンケート結果、今後の進め方についての説明があり、関連予算、若手の会HPの支部サーバーへの移行などについて承認された。

5. 旅費規程について <菅原支部長>

旅費規程に関する資料にもとづき、参与への交通費支給について議論し、次年度も継続して協議することとなった。

6. その他

事務局よりロゴデータ・ロゴガイドライン制作、およびHP、共有データファイルの取り扱いについての説明があった。